

考えを共有し、自らの考えを深める学習活動

道徳科・中学校3年・二人の弟子

ねらい：自分の弱さや醜さに向き合い、それらを克服しようとする強さや気高さに気付くことで、人間として生きること喜びを見いだそうとする態度を育てる。

期待される効果

- ・生徒が互いの考えを共有することができる。
- ・教師も生徒も、生徒全員の考えの傾向を瞬時に確認できる。
- ・教師は、生徒の考えを把握し、意図的指名を行いながら授業を展開することができる。



使用する機能：付箋機能、テキスト機能、画面共有機能

使用するアプリ：Google Form、Jamboard

Microsoft Forms、Whiteboard 等



学習活動

	活動内容	活用ポイント／留意点
導入	一斉 課題の確認 1 課題意識の確認 ・「自分って弱いな」と感じた経験はあるか。 ・そのとき、自分をどう思ったか。	・事前にアンケートをとり、結果を大型モニターで提示する。 課題：自分の弱さと向き合うとはどういうことだろうか。
	グループ 話し合い 2 教材文「二人の弟子」を読んだ話し合い 道信が上人によって許されたのを見て、智行はどのようなことを考えただろう。 ・書き込んだキーワードを基に、話し合う。	
展開	一斉 話し合い 白百合を見つめながら涙をこぼさずにいられなかった智行の気持ちは、どのようなものであっただろう。 ・個人で考える時間を十分確保した後、話し合う。	・班ごとにデジタルホワイトボードを使い、短い言葉で意見を書き込む。 ・納得できない気持ちの度合いをアンケートフォームの心情メーターに位置付けるなどして、一人一人の感じ方の違いを可視化できるようにする。 ・ワークシートに考えを書き込み、その部分を写真に撮って共有フォルダに保存する。 ・共有フォルダに保存されたワークシートは、大型モニターで提示し、互いの考えを見合うことができるようにする。
	個別 話し合い 3 本時の振り返り ・「自分の弱さと向き合う」ことについて、本時で学んだことや考えたことを書く。	
まとめ	個別 振り返り	・ワークシートに振り返りを書き、画像でも保存する。(ワークシートは、1時間に1枚とし、考えと振り返りが書けるようになっているものを使用する。)